

2025年4月23日

各位

株式会社 ほくほくフィナンシャルグループ

**雪印メグミルク株式会社のサステナビリティ経営推進を支援
～北海道内で創出された酪農由来のJ-クレジット購入をサポートしました～**

ほくほくフィナンシャルグループの北海道銀行（頭取 兼間 祐二）は、雪印メグミルク株式会社（代表取締役社長 佐藤 雅俊）が取り組むサステナビリティ経営の推進について支援しており、このたび、北海道内で創出された酪農由来のJ-クレジット^{※1}購入をサポートしました。

今般の取り組みは、北海道銀行が提携しているネイチャーベースのカーボンクレジット創出販売を手掛けるGreen Carbon 株式会社（代表取締役 大北 潤）が創出支援した北海道内の牧場における「家畜排せつ物管理方法の変更^{※2}」による酪農由来のJ-クレジットについて、当行の紹介により雪印メグミルク株式会社が購入するものです。J-クレジットの購入代金は温室効果ガス（GHG）排出削減に取り組む当該牧場へ還元されることとなります。当社グループとして、酪農由来のJ-クレジットの創出支援・販売仲介における初めての具体的な支援実績となります。

当社グループは、環境先進金融グループを目指したカーボンニュートラルの推進や北海道の基幹産業である農業分野の支援に取り組んでいます。今後も酪農・畜産農家のJ-クレジット創出支援を進めるなど、農業分野におけるサステナビリティの推進と経営支援を通じて、持続可能な農業・環境・社会の実現に向けて取り組んでまいります。

※1 J-クレジット制度：省エネルギー設備の導入や再生可能エネルギーの利用によるCO₂等の排出削減量や、適切な森林管理によるCO₂の吸収量を「クレジット」として国が認証する制度。

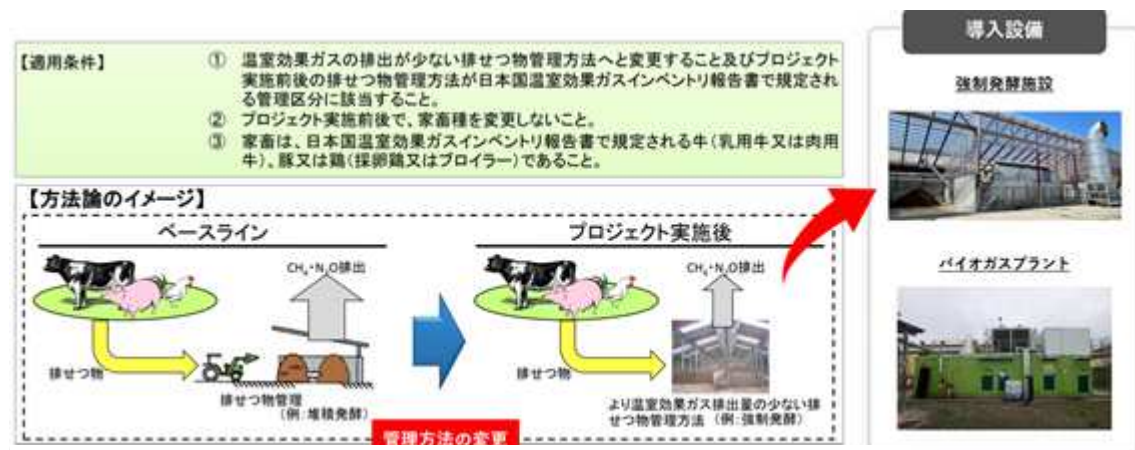
※2 家畜排せつ物管理方法の変更：家畜の飼養において、排せつ物の管理方法を変更することによりCH₄及びN₂O排出量を抑制する排出削減活動を対象とするもの。

記

1. J-クレジットの取扱内容

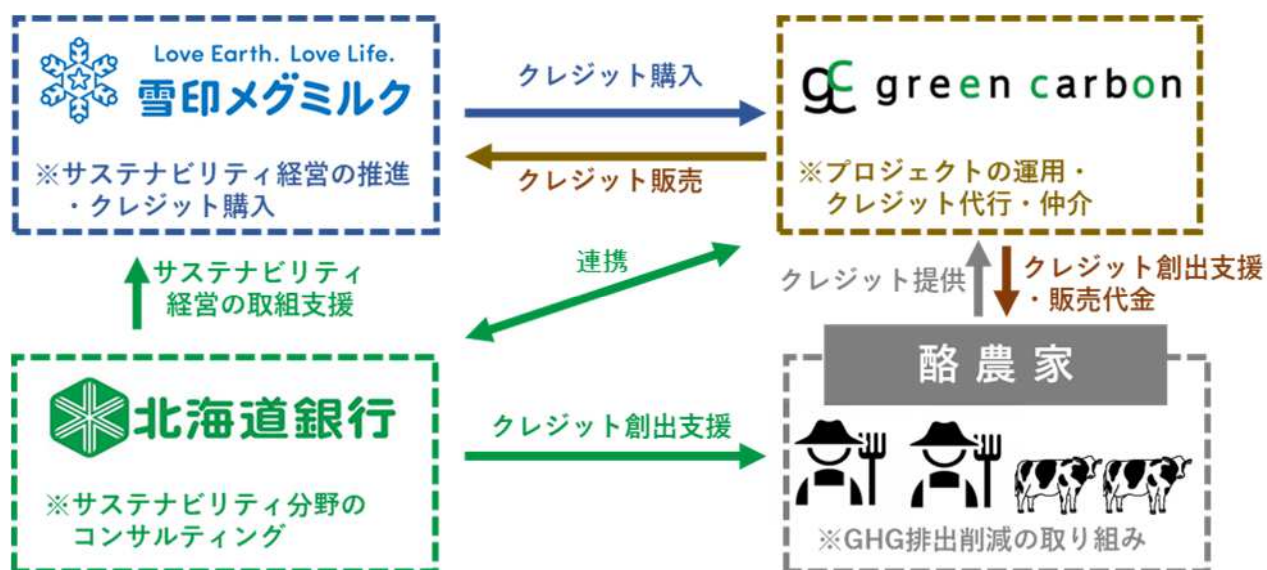
方法論	購入量（予定）
家畜排せつ物管理方法の変更（AG-002）	11,500t-CO ₂ （8年間合計 [※] ）

※ 雪印メグミルク株式会社では、「食の持続性」を実現するため気候変動や酪農生産における課題を解決し、2050年に向けカーボンニュートラルを目指しています。



※ 方法論及び適用条件は、J-クレジット制度ホームページより引用

2. 連携スキーム



3. 該当する SDGs の目標



SDGs は Sustainable Development Goals の略称で、2015 年に国連で採択された 2030 年までに達成すべき 17 の目標と 169 の具体的なターゲットを定めた「持続可能な開発目標」です。ほくほくフィナンシャルグループは、2019 年 4 月に「SDGs 宣言」を表明しました。

以上

<本件に関するお問い合わせ先>

ほくほくフィナンシャルグループ
北海道銀行

S X 推進部
アグリビジネス推進室
広報 CSR 室

多賀・津村 TEL (011) 233-1009
松田・中島 TEL (011) 233-1066
坂野 TEL (011) 233-1005